

## 町中を花でいっぱい

### 平田建設が3カ所で桜を植樹



役職員48人が20本の桜を植え付けた

として、土幌南地区集落センターなどでエゾヤマザクラを植樹した。役職員四十八人が参加。土幌町一帯に桜を咲かせたいという思いを込めて、二十本の苗木を丁寧に植え付けた。

【帯広発】(株)平田建設(土幌、野中栄忠社長)は四月二十六日、地域貢献の一環

として、三地区ある行政区すべてに桜を植樹しようと毎年行っ

ているもので、ことしで九年目になる。

これまで、中土幌地区や佐倉地区など、九地区で実施。ことしは、土幌南地区集落センター、出雲神社、中土幌(実勝東和)神社に二十本を植樹した。今回の植樹を含めて、植えつけた桜の苗木は計百五十一本となった。

この日は、役職員四十八人が参加し、数人のグループに分かれて所定の位置で作業した。スコップで大きな穴を掘りながら心を入れ苗木を植樹。また、苗木を固定するための補強作業が行われた。

野中社長は「いつもお世話になっていて地域の皆さんに恩返しできればとの思いで毎年行っている。きれいな花が咲くように、心を込めて植樹しているので、地域の皆さんに桜の姿を楽しんでいただければ」と話していた。